

WOTA BOX

ポータブル水再生システム

シャワーキットと組み合わせ、災害時に安心安全な水を提供



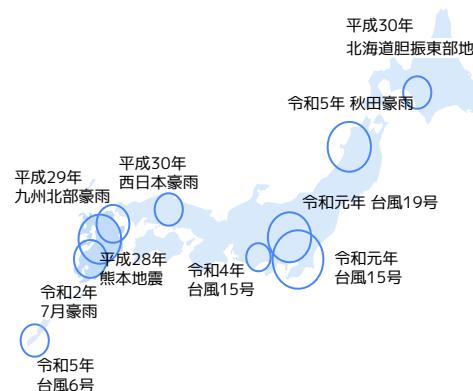
災害現場でのBOXの活用実績

(2023年末時点での被災地での入浴提供実績)

16 自治体様

27 箇所以上の避難所

20,000 人以上



WOSH

水循環型手洗いスタンド

使った水をその場で浄化し繰り返し利用する手洗いスタンド



特徴 1

水と石けんで手洗い除菌

使った水をキレイに浄化^{※1}・再利用し、手の汚れと病原菌を洗い流す



特徴 2

スマートフォンのUV-C除菌

付着した菌・ウイルスを深紫外線(UV-C)で99.9%以上^{※2}除菌



特徴 3

センサーとアルゴリズムによる水質管理

センサーと独自のアルゴリズムで水質を監視制御
水の浄化運用をスマートにサポート

※1 複数のフィルター、塩素添加や紫外線殺菌を組み合わせて「WHO飲料水水質ガイドライン」に準拠した除去率である、99.9999%以上の細菌・ウイルスを除去して安全な水を常に提供しています。

※2 除菌効果：豊田合成「新型コロナウイルス不活化に対する深紫外LEDの高い有効性を確認」

国難級災害^{※1}に備え、水循環システム^{※2}の自治体間広域互助プラットフォームを提唱

①分散備蓄×②災害時集約×③最適配分 — 自治体連携による水循環システムの広域プラットフォーム構想

	能登半島地震での結果	今後の災害に向けた必要能力
① 分散備蓄	307台で3万人程度をカバー	<u>1~3万^{※3}台程度必要</u>
② 災害時集約	徳島県による県内システム集約事例 <u>1週間で</u> 能登半島へ輸送	都道府県単位で集約し 最速で被災地へ輸送する機能事前構築
③ 最適配分	石川県&DMAT&WOTAにて6市町避難所・ 医療施設等の水需要を把握し、最適配分	被災都道府県単位での水需要把握・最適配分 ^{※4} を支援する機能

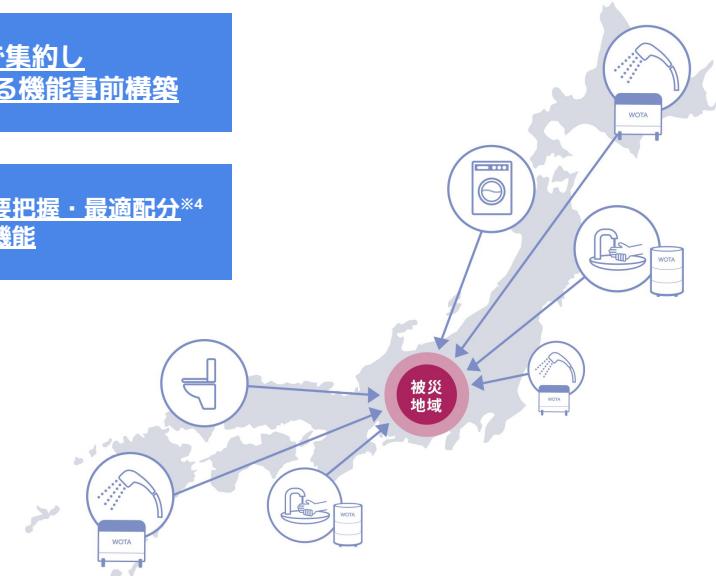
※1:国難級災害とは、南海トラフ地震、首都直下地震など、我が国の国力を著しく毀損し、国民生活の水準を長期に低迷させる力を持った巨大災害を指す

※2:将来的にはトイレや洗濯などに取り扱い拡充することも想定

※3:断水人口の比により概算

※4:水需要把握：避難所等での入浴・手洗い設備の需要調査を行うこと/

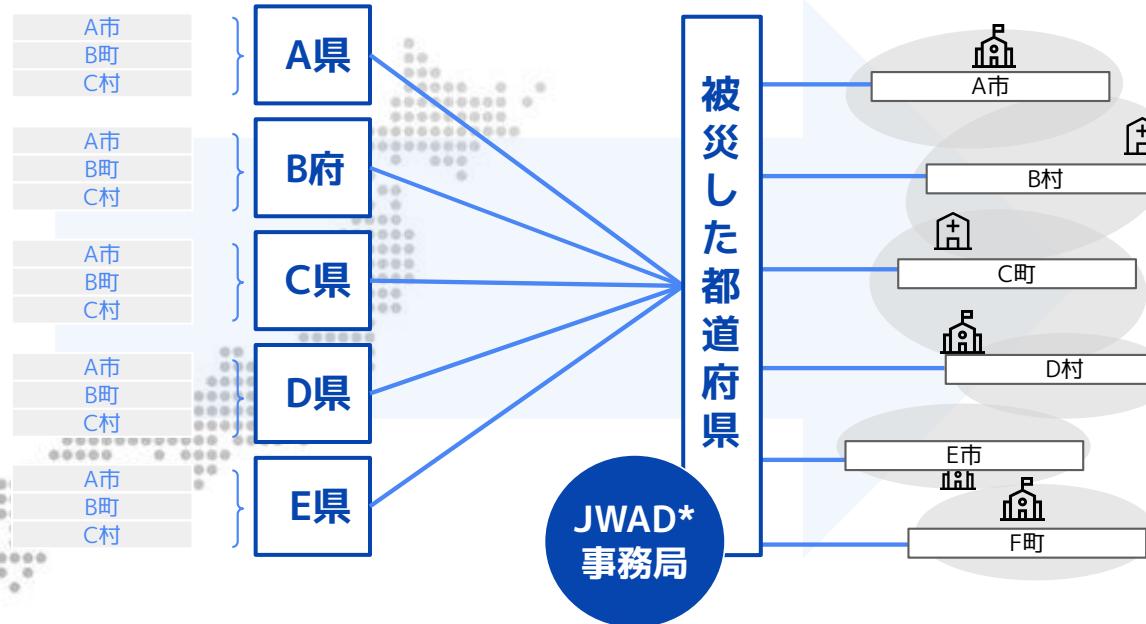
最適配分：被災地全体の需要把握結果に基づき、応援団体からの水循環システムを全体最適に配分すること



都道府県をハブとして、システムを迅速に届ける仕組みを構想

全国からの集約 → 被災地への配備

都道府県単位で集約し最速で被災地へ輸送



全国から集約し
1週間
以内に届けられる

※徳島県による県内システム集約事例
=1週間で能登半島へ輸送できた

*水循環システムの自治体間広域互助プラットフォーム

JWAD (Japan Water Association for Disaster) powered by WOTA